



由倉労組発行
発行責任者
加藤賢一
栃木県栃木市
藤岡町甲1730
TEL
050-3511-3720
FAX
0282-62-5420

最低賃金3円上げて700円答申

栃木県最賃審議会

栃木県最低賃金審議会は、第3回最賃審議会を8月5日に開催し、栃木県の地域別最低賃金について1時間当たり3円引き上げ、700円に改定することを栃木労働局長に答申した。この3円の引き上げは、中央最低賃金審議会が目安としてあげた1円を2円上回ったものである。

最賃に取組む意義

最低賃金は、ワーキングプアや貧困の問題が顕在化する中で、その重要性が指摘されてきた。働いても生活保護以下の収入しか得られないような最低賃金では最低賃金としての役割を果たしていない、最賃額が先進国の中で最低水準である

全国的な取組み

全国一般全国協では、今年1月に開催された全県代表者会議の中で、最賃交流会を開催し、最賃の大幅引き上げに全国的に取り組むことを決定した。また、佐野地区労は11春闘方針の中で最低賃金の引き上げに取組むことを決定し、署名にも取り組んできた。

最賃の仕組み

最賃は中央最賃審議会と各都道府県ごとの引き上げ



藤井労働局長に答申を提出する長島最賃審会長

佐野地区労の意見書

最低賃金を1000円以上に引き上げること最低でも今年度800円に引き上げること

全国的な取組み

全国一般全国協では、今年1月に開催された全県代表者会議の中で、最賃交流会を開催し、最賃の大幅引き上げに全国的に取り組むことを決定した。また、佐野地区労は11春闘方針の中で最低賃金の引き上げに取組むことを決定し、署名にも取り組んできた。

最賃の仕組み

最賃は中央最賃審議会と各都道府県ごとの引き上げ

藤岡工場納涼祭
「家族の参加もよろしく」

の引き上げにどのように影響するか注目された。こうした中で開催された中央最賃審議会でも出された目安は、全国平均で6円の引き上げであり、栃木県の目安は1円の引き上げという低額なものであった。

中央の目安は1円

地区労とわたらせユニオンは、7月12日、7月28日、8月5日に開催された3回の最賃審議会を傍聴し、最賃意見書に署名を添付して提出した。

こうした審議会の傍聴、意見書の提出、署名なども後押しして、目安1円に引き上げが実現した。しかし、雇用戦略対話で合意している800円には遠く及ばない。地区労は、3円はあまりにも低額であるとして、答申に対する異議申し出を行う。

本の紹介

あらためて文章を書く
この「文章速達法」のもとなっている。昭和57年に、講談社から現代仮名遣いに改めて翻刻された本書は、96年前に書かれたものとは思えないほど読みやすく、今なお十分通用する。

「文章速達法」

堺利彦著
講談社学術文庫
1983年発売 600円

この本が最初に発行されたのは大正4年、今から96年前である。著者の堺利彦は、明治から昭和初期に活躍した社会主義者である。幸徳秋水とともに日露戦争に反対し『平民新聞』を創刊。大逆事件で幸徳秋水らが死刑になった後の「社会主義冬の時代」に、「売文社」を設立し、同志たちの生計を支えて、運動の継続をはかる。「売文社」は翻訳から学生の論文の代作、祝辞、広告文、手紙の代筆まであらゆる売文を業とした。「売文社」の仕事として、多くの実用文を手掛けたことが、著者は文章の第一の要件は真実を語ることでありと繰り返し述べる。自分の考えたことをそのまま書くのがもつとも良い作文の方法であるとする。しかし、頭の中の考えや感情は、もつれた糸のようにならなければならない。出し方に工夫が必要で、それが腹案を立てるといことである。考えをまとめる方法として、今のKJ法のような提案がされている。文章は相手に伝えるものであるから、わかりやすく、相手を決めて書くのがよい。紙文や論文、記事文、小説の具体的な書き方が述べられる。著者は最後に「心の真実を率直に大胆に表すことを勉めさずれば、文章は必ず速やかに上達する。しかし、本当に上手に書くことと思うなら一生生涯稽古する覚悟が必要である。」と結ぶ。堺利彦のユーモアにあふれ、また真の大人の革命家としての生涯については、昨年講談社から発行された『パンとペン』に詳しい。著者の黒岩比佐子さんは本書執筆後、臍臓がんにより52歳で死去したが、『パンとペン』は渾身の一作である。「文章速達法」は発行元で品切れになっているため、図書館で探すのがおすすめである。ついでに『パンとペン』も探してみたらどうだろうか。

ちょこ鉄雑学
てっちゃん

日本の鉄道のレールの幅は全部同じというわけではありません。新幹線は、1435ミリメートル、在来線では主に1067ミリメートルを採用しています。1435ミリを標準軌（広軌）といい、1067ミリを狭軌といいます。

しかし、日本の鉄道のレールの幅は、この2種類だけではありません。近鉄では3種類（1435ミリ・1067ミリ・762ミリ）を採用しています。762ミリの特殊狭軌線はナローゲージと呼ばれ、内部線（四日市～内部）および八王子線（日永～西日野）で採用されています。

関西の私鉄は、阪急、阪神、京阪など標準軌（1435ミリ）を採用しているところが多いようです。

ちょっと変わった部類として、京王電鉄京王線では、1372ミリを採用しています。これは都電と直通するためにとられたようです。同じ京王電鉄でも井の頭線では1067ミリです。

海外では、ほかにもレール幅の違ったものを採用している国もあるようです。